

対象国の条件:アフリカ地域

研修コース番号:201984550-J002

案件番号:201984550

主分野課題:運輸交通/運輸交通行政

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

アフリカ地域では、国際回廊に係る物流施設及びそれらが適切かつ有効に機能するための制度・政策・組織・運営システムに問題を抱えており、同地域の経済成長の妨げになっている。本研修は、国際回廊の玄関口として港湾が喫緊に取り組むべき課題、すなわち物流効率化の観点から、講義並びに討論の内容を深化させ、課題解決に向けた対策を検討する過程を通じて研修員の計画策定及び港湾運営管理能力向上を図るものである。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 港湾計画・港湾管理担当官の計画策定能力・港湾管理運営能力が向上する。</p> <p>【成果】 1. アフリカ地域および自国におけるクロスボーダー交通インフラ（CBTI）の現状を把握し、課題を抽出する。 2. 港湾における物流効率化の推進のための方策を理解し、自国への適用可能性を検討する。 3. 日本の港湾管理運営制度、港湾運送と国際競争力強化に向けた取り組みを理解し、自国への適用可能性を検討する。 4. PPPの導入と現状について理解し、自国への適用可能性を検討する。 5. 自国の港湾における物流の円滑化を検討し、改善策を作成する。</p>	<p>【対象組織】 港湾戦略・計画策定に携わる港湾担当省庁もしくは港湾管理機関</p> <p>【対象人材】 【職位】 港湾担当省庁もしくは港湾管理機関で港湾戦略・計画策定部署に所属する者（特に物流を所掌している部署に所属する者） 【職務経験】 港湾計画・開発・管理業務に係る5年以上の実務経験を有する者 【その他】 大学卒業又は同等の学力を有する者</p>

内 容	本邦研修期間	2019/10/28～2019/11/21
<p>以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。</p> <p>1. (1) 広域物流と国際回廊の現状認識 (2) 港湾の背後圏の捉え方 (3) 船社の寄港地選択分析 (4) 港湾における物流の現状分析 (5) 港湾物流コストの構造分析</p> <p>2. (1) ハード面からのアプローチ（施設整備によるバース・ヤードの拡大・効率性改善等） (2) ソフト面からのアプローチ（手続き簡素化、税関との連携、ICTの活用等）</p> <p>3. (1) 日本の港湾制度 (2) 国際競争力強化に向けた取り組み (3) 日本の港湾保安対策</p> <p>4. 港湾における港湾運営の民営化の最近の動向について</p> <p>5. (1) 貨物の滞留時間に係る研修員による自国での課題とこれまでの取り組み紹介・研修員間のディスカッション (2) 自国の課題の抽出、対策の検討・提案、(3) 具体的な業務改善案の検討、アクションプランの発表</p>	担当課題部	社会基盤・平和構築部
	所管国内機関	JICA横浜
	関係省庁	
	実施年度	2018～2020

主要協力機関 ・ 一般財団法人国際臨界開発研究センター

特記事項及びホームページ